

別紙 1

論文審査の要旨

報告番号	乙 第 2 9 3 2 号	氏 名	櫛橋 幸民
論文審査担当者	主査 瀧本 雅文 教授		
	副査 後閑 武彦 教授		
	副査 小風 暁 教授		
(論文審査の要旨)			
<p>頭頸部癌患者で喫煙・受動喫煙の詳細が確認できた 283 例（鼻・副鼻腔癌 27 例、舌・口腔癌 48 例、咽頭癌 99 例、喉頭癌 79 例、頸部食道癌 30 例）を対照とし、喫煙・受動喫煙が頭頸部癌に及ぼす影響を case control study として分析疫学的に検討した。いずれもブリンクマン指数は 500 以上で、病理組織学的には扁平上皮癌（SCC）の占める割合が高く、SCC と非扁平上皮癌における喫煙・受動喫煙率は有意差をもって SCC の方が高かった。鼻腔、副鼻腔・口腔に発生した癌に比べ、咽頭、喉頭では喫煙・受動喫煙率は高率であった。タバコ煙の通過する単位面積が小さいほど流体力学的に機械刺激や化学刺激などの直接刺激が強くなり、咽頭・喉頭癌での喫煙・受動喫煙率が高値となると推測された。本研究では、コントロールの適切な選択が難しく、選択バイアスについての検討が十分になされる必要があるが、喫煙・受動喫煙と頭頸部癌における詳細な分析疫学的研究が行われており、学術的価値が高く、学位論文に値すると判定した。</p>			
論文題名：Association between head-and-neck cancers and active and passive cigarette smoking（頭頸部癌と喫煙および受動喫煙との関連性の検討）			
掲載雑誌名：Health Vol.4, No.9, p619-624, 2012			

(主査が記載、500 字以内)